

『北陸地域ICTイノベーションセミナー2015』を開催

～ 平成27年度SCOPE研究成果発表会 ～

北陸情報通信協議会では、平成27年6月15日（月）、金沢東急ホテルにおいて、北陸総合通信局、ICT研究開発機能連携推進会議との共催により、平成27年度情報通信月間行事の一環として、「北陸地域ICTイノベーションセミナー2015」を定員を超える約120名の参加により開催しました。

冒頭、北陸総合通信局の星局長が、「『イノベーション』を具体的に醸成していくには、官民それぞれが、社会の課題を共有しつつ、オープンにできる技術やノウハウを開示し、連携・協働による新たな技術やシステム構築、サービスの実現などにつなげていくことが重要である。」と挨拶しました。

基調講演では、篠田 陽一 氏（北陸先端科学技術大学院大学 高信頼ネットワークイノベーションセンター長）が、「JAIST-NICT高信頼ネットワークイノベーションセンターについて」と題して、NICTが運営しているネットワークのシミュレーション基盤である北陸StarBED技術センターの紹介、及びJAISTとNICTが今年4月に共同で設立した新しいセンターで行うICTネットワークとセキュリティにおける人材育成の推進等について講演しました。

続いて、総務省情報通信国際戦略局技術政策課 課長補佐 篠澤 康夫 氏が、多くのベンチャー企業が直面している、いわゆる「死の谷」の克服に向けた総務省の「ICTイノベーションチャレンジプログラム」事業について説明しました。

その後、平成25年度及び平成26年度に北陸地域で採択された「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」プログラムの「地域ICT振興型研究開発」の5課題について、各研究代表者等が研究の概要と成果を発表しました。

- 「在宅医療に向けたクラウド型地域連携医療システムの研究開発」
福井大学医学部 技術専門員 笠松 眞吾 氏
- 「リソース制御と近距離無線通信を利用して地域の賑わいと安全を創出する多目的情報通信システムの研究開発」
福井大学大学院工学研究科 准教授 橋 拓至 氏
- 「柔軟なインターフェースによる健康データの登録・参照プラットフォームの研究開発」
北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 准教授 吉高 淳夫 氏
- 「在宅医療と介護の為にアラームアドバイザー支援システムの研究開発」
福井大学医学部 講師 山村 修 氏
- 「発光・蓄光金属を用いた災害危険度感知センサーとそのセンサーネットワーク展開の研究開発」
富山大学大学院理工学研究部 教授 堀田 裕弘 氏

また、会場内に設けた各研究機関のデモ・展示ブースでは、多数の参加者が研究内容の説明を熱心に受けていました。



【主催者挨拶：星 局長】



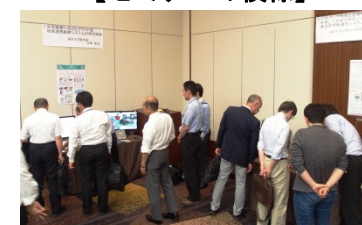
【基調講演：JAIST 篠田教授】



【I-Challenge!施策説明：
総務省 篠澤課長補佐】



【セミナーの模様】



【デモ・展示ブースの模様】